

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

本製品にとって泥、汚水、セメント、海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

【掃除のしかた】

- 汚れは濡れ雑巾できれいに拭きとってください。
- 汚れがひどい場合は水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- 油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、きれいに拭きとってください。

注意 クリナーや洗剤をつけたままにしておきますと腐食の原因となります。

2. 保管のしかた

- 雨や直射日光の当たらない、風通しのよい場所を選んで保管してください。
- 本製品が濡れているときは、十分乾かしてから保管してください。
- 本製品は特に粉塵は大敵ですので屋内のきれいな場所に保管してください。

注意 保管中は本品の上にもものをおかないでください。変形の原因になります。

注意 震築、セメント、石灰の近くに置きますと、化学反応を起こして腐食の原因となりますので、絶対におかないでください。

警告 製品の安全性確保のため次のことを必ず守ってください。

1. 次の場合は直ちに使用を中止してメーカーに連絡してください。

- 部品の破損、部品の脱落あるとき。
- 荷台やスライド枠が作動不良のとき。
- ワイヤーロープが損傷したとき。
- ウインチの作動が重いとき、または異常な音や抵抗があるとき。
- 車輪、ジャッキ、アウトリガーが損傷したとき
- その他、使用上、あるいは安全上に支障のあるとき。

2. 本製品に加工を加えたり、部品を追加したりして使用しないこと。

株式会社 **ナカオ**

〒750-0322 山口県下関市菊川町榑崎1278-1 TEL 083-287-1231 FAX 083-287-1201
お客様相談窓口（総務室） TEL 083-287-1231

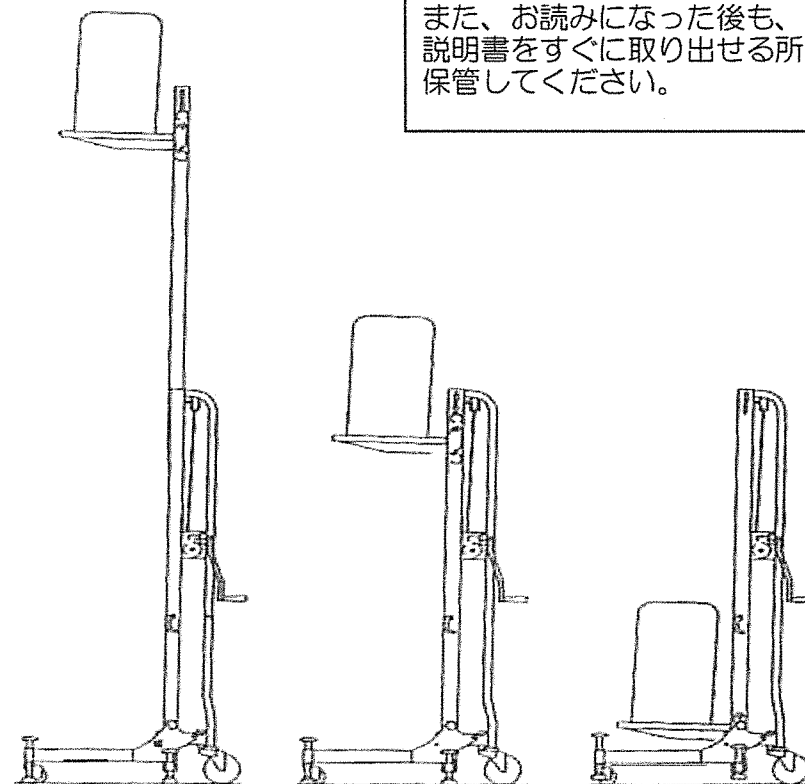
R-280

リフト式 ハンドトラック

取扱説明書

NAKAO

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保管してください。



注意
●リフト式ハンドトラックは、正しく使われていないと転倒や積荷の転落の危険があります。お使いになるときは、本製品の安定状態を確認してください。

●この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

表示マークについて	2
各部のなまえ・製品仕様	3
安全作業のために、必ず守っていただきたいこと	4
組立てかた	5
ご使用前の点検	7
使いかた	8
1. 本製品の持ち運び	8
2. 運搬車としての使いかた	8
3. リフターとしての使いかた	9
4. 機器の取付のために使用するとき	11
点検のしかた	12
使用後のお手入れと保管のしかた	15

●ウインチボックス内部、軸受部

保守・点検上の注意	
! 警告	○ウインチボックスの蓋を開けたまま荷を載せて巻き上げないこと。 (蓋でも強度を持たせているのでウインチが破損します)
	○分解は絶対にしないこと。
	○各部の点検と給油以外、部品の交換などは絶対に行わないでください。
	○ブレーキシュー(6)には絶対に給油しないこと。
保守・点検箇所	
1	各部に変形や割れはないか確認する。
2	ねじのゆるみや脱落はないか確認する。
3	給油は次の箇所にしてください。
	軸受け1、軸受け2、軸受け3の摺動部及びブレーキツメの軸部(→ 箇所)
	にカップグリースを薄く塗布する。
4	ロープ止めテープがゆるんでいるときは、テープを交換して巻きなおしてください。
	ワイヤーロープをワイヤードラムに3周きちんと巻いた上からテープを固く巻くこと。

No.	名称
1	主軸
2	軸受け1
3	軸受け2
4	ねじ歯車小
5	ねじ歯車大
6	ブレーキシュー
7	ブレーキツメ
8	ツメ車
9	主軸取付金1
10	主軸取付金2
11	ウインチドラム
12	軸受け3
13	ワイヤーロープ
14	ロープ止め金
15	ロープ止めテープ

【上昇・下降をさせて作動の確認をする】

1. 空荷で伸縮させたとき、荷台とスライド枠がスムーズに作動するか確認する。

- 荷台はスムーズに上昇・下降するか。ガイドローラーは円滑に回転するか。
又、スライド枠のガイドローラー走行面に曲がりや傷はないか。
- スライド枠はスムーズに昇降するか。下部枠のスライド枠走行面に曲がりや傷はないか。
- 巻き上げの時、荷台が先に上昇して次にスライド枠が上がりはじめるか。
又下げるときは、スライド枠が先の下がり終えて次に荷台が下がりはじめるか。

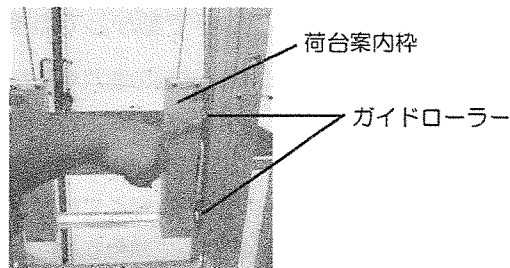
警告 荷台やスライド枠の昇降を妨げるような変形、傷などがあると、とても危険です。

2. 伸縮時に異状音や振動、ガタはないか。
3. ワイヤロープの張りは左右のバランスがとれているか。又滑車から外れることはないか。
4. 荷台に50kgの荷を載せて12ページの「ウインチ部を目視又は手で動かして点検する」の1～6項を点検する。
5. 同様に本ページの「上昇・下降させて作動の確認をする」の1～3項を点検する。

【定期的な給油】

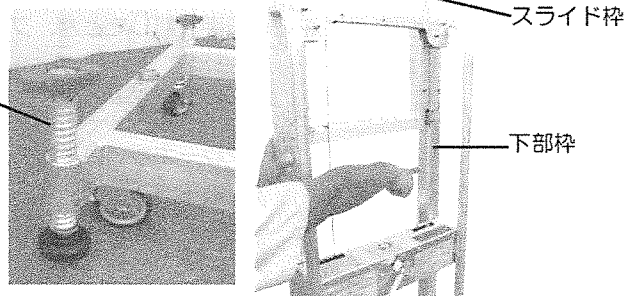
給油前に必ず清掃して周囲がべとつかない程度にカップグリースを少量給油してください。

- 荷台案内枠のガイドローラー軸部
(スプレー式グリースでも可)



- 下部枠のスライド枠走行面に極く薄く塗布する。

- ジャッキのねじ部



表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている
警告 マーク付きの説明は、安全上特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や障害事故が生じる危険のあることを示します。

注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。
※破損したまま使用しますと、転倒や荷物の転落による損害事故の原因になります。



＜絵表示について＞

警告表示の要点が一目で理解できるように警告ラベルの中で絵表示を使用しています。
絵表示には、下記の意味があります。

感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを注意しています。

手をはさまないよう注意

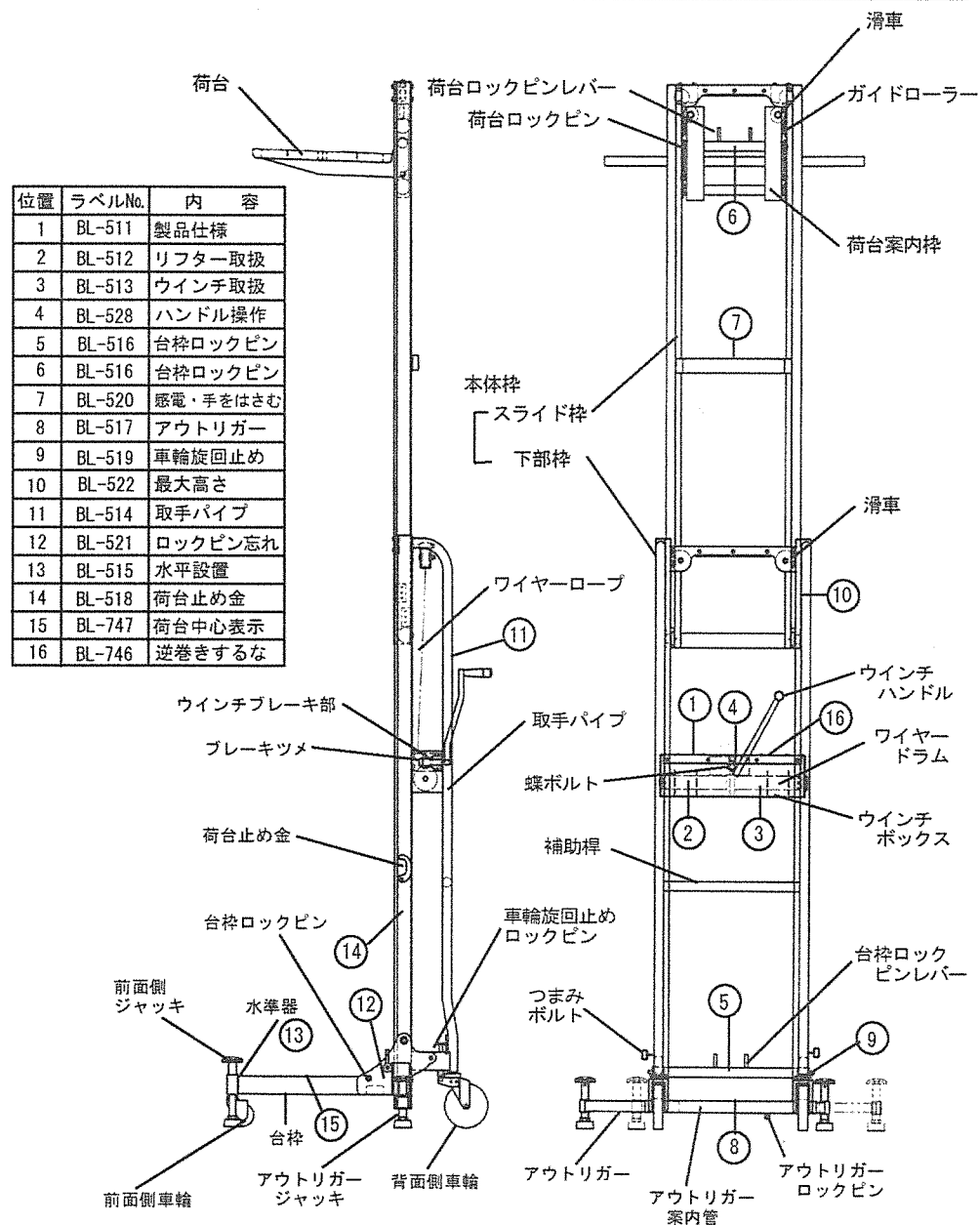
操作時にスライド部で、手をはさむ恐れがあることを注意しています。



固定ピンのかけ忘れに注意

確実にかかっていないとリフターが倒れたり荷台が落下して危険であることを注意しています。





位置	ラベルNo.	内 容
1	BL-511	製品仕様
2	BL-512	リフター取扱
3	BL-513	ウインチ取扱
4	BL-528	ハンドル操作
5	BL-516	台枠ロックピン
6	BL-516	台枠ロックピン
7	BL-520	感電・手をはさむ
8	BL-517	アウトリガー
9	BL-519	車輪旋回止め
10	BL-522	最大高さ
11	BL-514	取手パイプ
12	BL-521	ロックピン忘れ
13	BL-515	水平設置
14	BL-518	荷台止め金
15	BL-747	荷台中心表示
16	BL-746	逆巻きするな

製品仕様	最大使用荷重	幅×奥行き×高さ	750×770×1650 mm
		(荷台を外した時)	(600×770×1650 mm)
	50 kg	荷台高さ 最低/最高	250/2700 mm
		自 重	22 kg

日常点検・定期点検

【リフター本体部を目視又は手で動かして点検する】

1. 可動部に使用上支障のあるような異物の付着や汚れはないか。
2. 各部にねじやリベットのゆるみや脱落はないか。
3. 各部に曲がり、割れ、外れはないか。又、溶接部の割れや外れはないか。
4. 車輪の回転、旋回に支障のある傷みはないか。又、ストッパーは正常に動くか。
5. アウトリガー及びアウトリガーロックピンの作動は円滑で確実か。
6. ジャッキは回転するか。又、部品の破損・脱落はないか。
7. 台枠ロックピンの作動は円滑で確実か。
8. 荷台ロックピンの作動は円滑で確実か。
9. 水準器は正常か。
10. ワイヤロープの曲がり、よじれ、素線切れ及び端末の傷みはないか。
11. 滑車の磨耗、割れ、その他の損傷はないか。
12. 各部のラベル（表示）のはがれ、脱落はないか。

【ウインチ部を目視又は手で動かして点検する】

1. ウインチボックスの溶接部の割れや外れはないか。
2. ウインチボックス各部及びフタのねじのゆるみはないか。
3. ワイヤロープの外れはないか。
4. ウインチハンドルの回転は軽くて円滑か。
5. ウインチハンドルを回して荷台を上げるとき軽く滑らかにまわるか。
このときブレーキツメが正常に作動しているカチカチ音がするか。
又、途中で半回転ほど逆転して手を離したとき、ブレーキが効いて荷台が停止するか。
6. ウインチハンドルをまわして荷台を下げるとき軽く滑らかにまわるか。
又、途中で手を離したとき、ブレーキが効いて荷台が停止するか。

4. 機器の取付けのために使用するとき

警告 強風や突風のある場所では、絶対に使用しないでください。

警告 機器の取付けのために積載物を高く上げたまま移動する場合は、次のことを厳守してください。

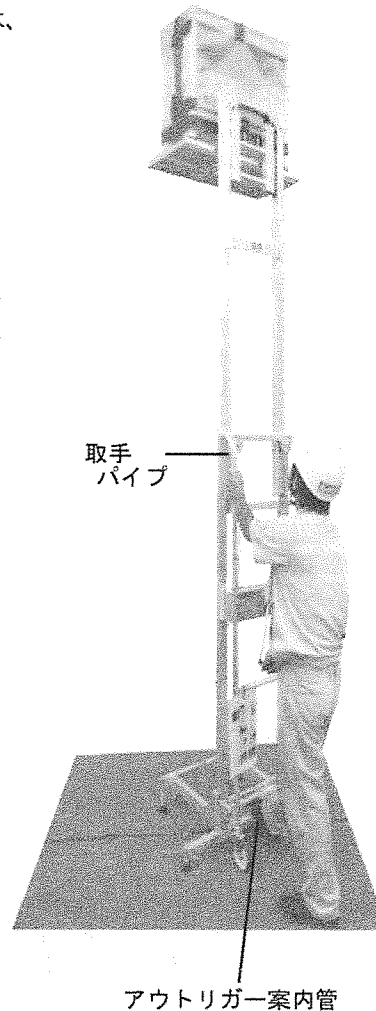
● 水平な場所以外では、絶対移動しないこと。傾斜があると、リフターが自走、暴走したり旋回したりしてとても危険です。

● 取付け場所に最も近い所でリフターを止めて車輪のストッパーを解除した後、ジャッキを接地面から少し浮かせる。

● 両手で取手パイプを持ち、下部枠のアウトリガー案内管に片足を掛けて、その足と両手でリフターを支えながら少しずつ移動してください。

● 移動した後は必ず、車輪のブレーキを掛け、4点のジャッキを効かせること。

● 機器を取付けるとき、荷台に載った機器を押し引きすると、本機が転倒する恐れがありますので、本機と近くの構造物をロープで固定するなどの処置を行ってください。



禁止事項

- 積載荷重は50kgを超えて使用しないこと。
- 人は絶対に乗らないこと。
- 荷物を高く上げたまま、移動しないこと。
- 強風、突風下では使用しないこと。
- 荷台の下に身体を入れないこと。
- 傾斜地（勾配3/100＝1mにつき3cmの高低差以上の場所）で使用しないこと。
- スライド部分、回転部分に抵抗がある場合は使用しないこと。
- ワイヤーが損傷していたり、左右の張力のバランスが悪いまま使用しないこと。
- 部品を外したまま使用しないこと。
- ウインチハンドルに過大な力をかけて巻きあげたり。下降端で緩め過ぎないこと。
- 使用中に下部枠及び荷台のロックレバーを絶対に操作しないこと。
- 引きずったり、倒れたり乱暴に扱わないでください。変形や破損の原因になります。
- 無断で改造はしないでください。責任は負いません。

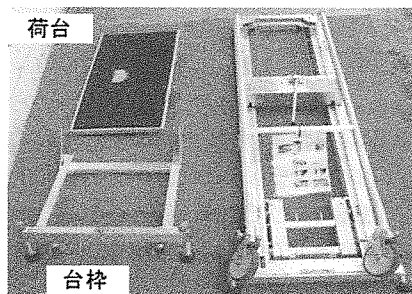
注意事項

- 使用時は硬く安定した面の上で、ジャッキを効かせて台枠を水平に設置すること。
- 下部枠及び荷台のロックピンが確実に入っていることを確認して使用すること。
- 荷物は、出来るだけ重心が荷台の中心に近くなるように載せること。
- ウインチのブレーキは十分かかることを確認してから使用すること。
- 高所や不安定な場所で使用する場合は、近くの構造物にリフターをロープなどで固定し、安定させてください。
- この製品はアルミニウム合金できており、電気を通しますので、移動中や設置時に配電線に触れると感電して危険です。

組立てかた

梱包を解き部品の確認をします

- 本体枠、台枠、荷台に三分割されていますので、梱包をほどいたら先ず全体の確認を行ってください。
(曲がり、へこみ、割れなどの損傷、ゆるみ部品の脱落の確認)



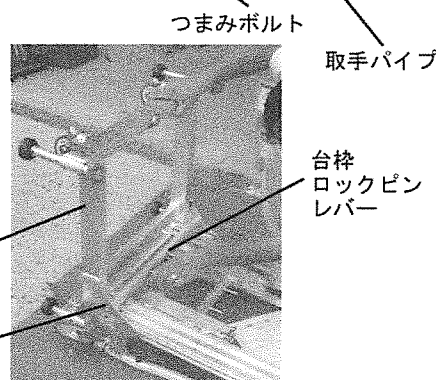
台枠の組立てかた

- 最初に本体枠を取手パイプを下にして置きつまみボルトをゆるめて外します。

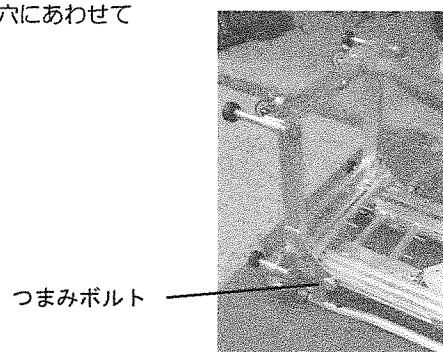


- 台枠ロックピンレバーを握り台枠の取付け穴に台枠ロックピンをセットします。

- 台枠ロックピンがロック位置まで入っていることを確認してください。



- 最初に外したつまみボルトを穴にあわせて最後までねじ込みます。



注意 荷物を載せる前に次のことを確認します。

- 荷台ロックピンが両側とも確実にセットされていること。又、台枠ロックピンが両側とも確実にロックされていること。
- ジャッキが4カ所とも確実に効いていること。
- 上方の障害物のはみ出し、配電線の有無を確認すること。
- 荷物の重心ができるだけ、荷台の中心なる様に載せること。

警告 荷物の重心が荷台の中心よりずれているとリフターが転倒したり荷物が落下する恐れがあります。

- ウインチハンドルをまわして荷物を上げます。この時必ずウインチのブレーキツメがカチカチ鳴って正常に作動していることを確認のこと。又、荷台から先に上がり、次にスライド枠が上がることを確認してください。

- 途中で荷台を停止するときは、ウインチハンドルを止め半回転ほど逆転すると、ブレーキがかかりその位置で荷台が停止しますので確認してから手を離してください。

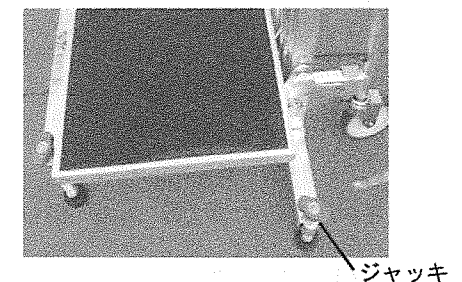
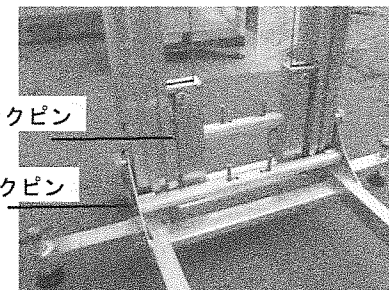
警告 巻上げ最大高さは「最大高さ表示ラベル」で確認しそれ以上は絶対に巻上げないこと。

- 下げるときは、スライド枠から先に下がり次に荷台が下がることを確認しながらウインチハンドルをまわしてください。

警告 ハンドル操作は荷台が下降端まで下がったところで必ず止めること。戻しすぎるとワイヤーロープの端末処理が乱れて巻上げに不具合が生じます。

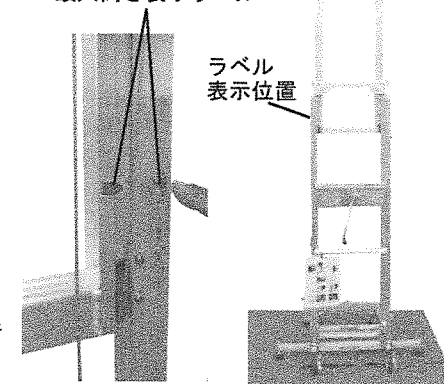
- 荷物の積載時や荷台が上昇したままの時、作業者は本体より離れないでください

荷台ロックピン
台枠ロックピン



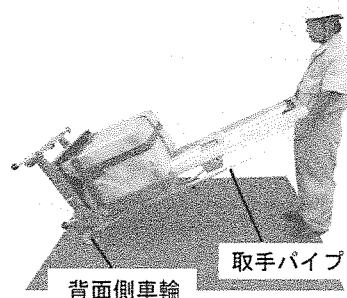
最大高さ表示ラベル

ラベル表示位置



●ネコ車としての使用

台車の状態で荷物を積んだあと、取手パイプを持ちリフター全体を後ろに傾けて、背面側車輪2輪で移動します。この時、車輪旋回止めロックピンを必ずセットしておきます。



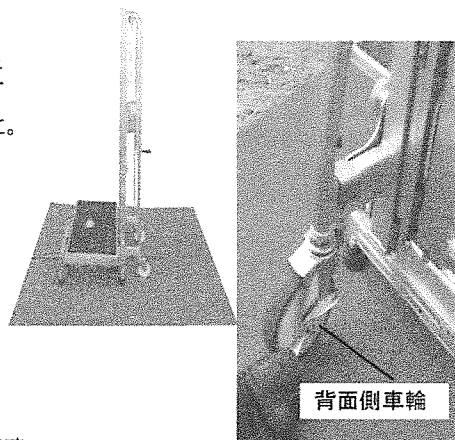
背面側車輪

取手パイプ

3.リフターとしての使いかた

●設置面は平坦で硬くしっかりしていること。

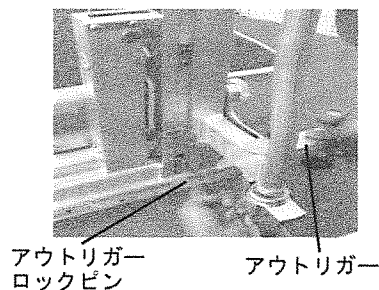
●台車の状態にセットします。



背面側車輪

●台車のストッパーを4ヶ所ともロックします。

●アウトリガーを引き出しアウトリガーロックピンをセットします。



アウトリガー
ロックピン

アウトリガー

●リフターが水平に設置されるよう台枠の水準器をみながら4ヶ所のジャッキを調整します。

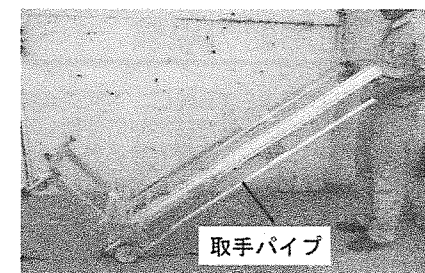


水準器

アウトリガー
ジャッキ

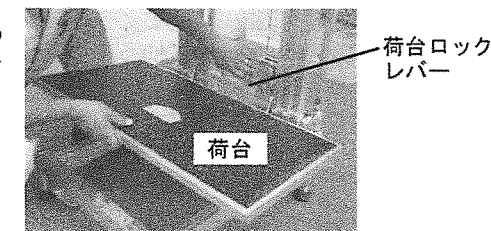
【荷台の組立かた】

●本体を起こします。この時必ず取手パイプを持ってください。



取手パイプ

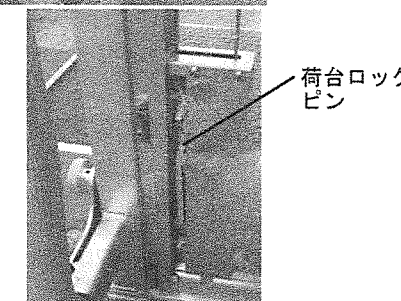
●荷台ロックピンレバーを握り、荷台を持ち上げて荷台受金に荷台ロックピンをセットします。



荷台ロック
レバー

荷台

●荷台ロックピンがロック位置まで入っていることを確認してください。

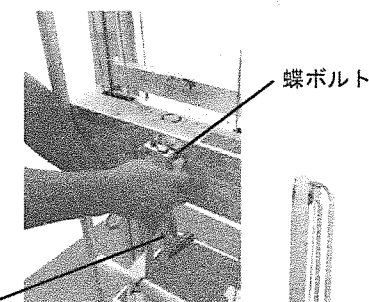


荷台ロック
ピン

ウインチ作動の確認

●ウインチハンドルの蝶ボルトをいったんゆるめてハンドルの握りが手前になるようにまわして再度ねじ込んでください。

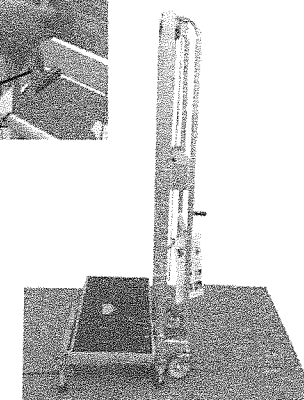
●荷台を上げるときウインチハンドルが円滑に回転し、ブレーキツメがカチカチ鳴る音（ブレーキツメが正常に作動している音）がするか、又荷台を下げる時も円滑に回転するか確認してください。



蝶ボルト

ウインチハンドル

●以上で組立完了です。



ご使用前の点検

本品をお使いになる前に、下記の点検を行い異常のないことを確認してください。
又、異常がある場合は絶対に使用しないでください。
尚、異常に対して処置できるものは、正しい処置をした後に使用してください。

【目視または手で動かして各部の点検をします】

- 可動部に使用上支障のあるような異物の付着や汚れはないか。
- 各部にねじやリボットのゆるみや脱落はないか。
- 各部に曲がり、割れなどの破損はないか。又、溶接部の割れや外れはないか。
- アウトリガーの作動はスムーズか。又、ジャッキのねじは滑らかに回転するか。
- 車輪は円滑に回転するか。又、ストッパーは確実に効くか。
- ウインチボックスの破損やねじのゆるみはないか。

【伸縮操作をしてウインチ及び滑車の作動を点検します】

⚠ 警告 伸縮時に取手以外を持たないでください。

- ワイヤーロープのよじれや素線切れはないか。
- ワイヤーロープが滑車から外れていないか。
- 滑車とワイヤーロープは円滑に作動するか。
- ウインチハンドルをまわして荷台を上げるとき軽く滑らかにまわるか。
この時、ブレーキツメが正常に作動しているときのカチカチ音がするか。
又、途中で半回転ほど逆転して手を離れたとき、ブレーキが効いて荷台が停止するか。
- ウインチハンドルをまわして荷台を下げるとき軽く滑らかにまわるか。
又、途中で手を離れたときブレーキが効いて荷台が停止するか。

【伸縮操作をして荷台及びスライド枠の作動を点検します】

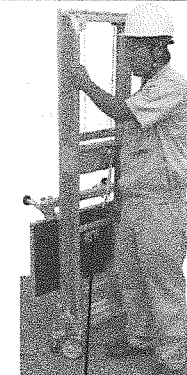
- 荷台及びスライド枠は抵抗なく、上昇・下降するか。上昇時は荷台が先に上がって次にスライド枠が伸びはじめるか。下降時はスライド枠が先に下がり次に荷台が下がりはじめるか。

⚠ 警告 荷台やスライド枠が途中で引っかかっていた場合、急に落下することがあるのでとても危険です。

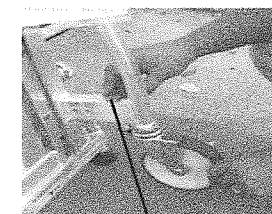
使いかた

1. 本製品の持ち運び

- 手で持ち上げて運ぶ
階段などの段差のある場所での移動は補助棒を持って運びます。
- ネコ車にして運ぶ
平坦な場所では本製品を後ろに傾けて取手パイプを持ち背面側車輪の2輪で移動します。
このとき、車輪旋回止めロックピンをセットしておきます。

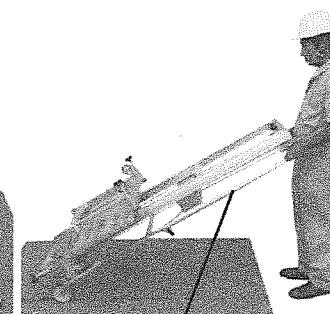
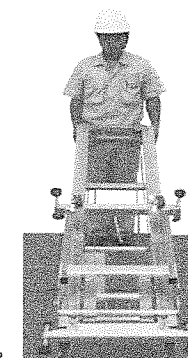


補助棒



車輪旋回止め
ロックピン

- 狭い場所を通り抜けるとき
荷台を外して移動します。
幅が750mmから600mmに小さくできます。



2. 運搬車としての使いかた

⚠ 警告 最大積載荷重は50kgです。
これを越えて積まないこと。

- 普通の台車として使用
台車を下端しまでさげます。

取手パイプ

背面側車輪を旋回ロックします。
荷台に荷物を載せて運びます。

荷物は荷台の中心に載せてください。
又、できる限り荷台を下げた位置で運んでください。

